（様式２）
令和　６年 ３月

令和５年度　加古川市立別府小学校　学校評価（学校自己評価・学校関係者評価）

学 校 目 標	こころ豊かに学び続ける健康で明るいべふっ子の育成
めざす児童像	互いに認め合い、生き生きと学び活動するべふっ子

目標	実践目標	学校自己評価		学校関係者評価
		達成状況	改善の方策	
（１）かしこいべふっ子 ～確かな学力を培います～	・協同的探究学習による「わかる学力」の向上で学び続ける児童の育成を図ります ・基礎･基本の定着で「できる学力」の向上を図ります ・一人一人に応じたきめ細かな指導をします ・個々のニーズに応じた特別支援教育を推進します。	A	・個別最適な学びの実現と協同的探究学習で「わかる学力」の向上をめざして、一人一台のPC端末を効果的に活用できる教育をさらに推進する。 ・授業で分からないところを気軽に尋ねられるサポート体制の充実をさらに推進する。	・個別最適な学びに向けてICTを効果的に活用するとともに支援を必要とする児童への教職員の組織的な対応を引き続き推進してほしい。
（２）やさしいべふっ子 ～豊かな心を育てます～	・子どもの心にひびく道徳教育を推進します ・豊かな心を養う人権教育を推進します ・児童の内面理解に基づく生徒指導を充実します ・自主的実践的な態度を育てる特別活動を充実します ・基本的生活習慣を身に付けさせます	B	・特別活動などで異学年交流を増やし、個々の児童が活躍する中で自己肯定感を高める取組を意図的に設定する。 ・「べふっ子のくらし」を教職員と家庭とが共通理解したうえで連携して指導に当たる。	・それぞれの児童が自分らしく活躍できるような機会を設けることにより自己肯定感を高めていけるのではないか。
（３）たくましいべふっ子 ～健やかな体と心を育てます～	・体力づくりの日常化を図ります ・健康教育を推進します ・食育を推進します	B	・年間を通して「体づくり」や縄跳び運動に取り組み、持久力や巧緻性の向上を目指す。 ・ペア学年での外遊びやなわとび大会など体力づくりの日常化を図っていく。	・学校の休み時間の活用等に加えてぜひ家庭も巻き込んで縄跳び運動や体づくりを広げてほしい。
（４）家庭・地域社会との連携協力 ～地域総がかりの教育を進めます～	・「学校園連携ユニット」の推進を図ります ・学校の情報をお知らせし、意見を伺います ・安全・安心な学校づくりを推進します	A	・ホームページ・スクリレを活用し地域ボランティアやユニットの取組を周知し活動の充実を図る。 ・家庭や地域と連携し、安全点検を実施することにより安全・安心な学校づくりを推進する。	・別府小と別府西小の交流とともに地域も巻き込んだ取組を取り入れて活性化につなげていきたい。
（５）教職員の資質向上 ～研修に努め実践的指導力を磨きます～	・専門性と実践的指導力の向上に努めます ・コンプライアンス推進に努めるとともに人権感覚を磨き、人間力を高めます ・組織力向上に向けた協働体制を確立します	A	・業務の精選に取り組むとともに、関係機関と効果的に連携できるように教職員全員で個々の児童をサポートできる体制を構築し、「チーム学校」として組織的な取組を強化する。 ・校務分掌組織を見直し、協働体制の充実を図る。	・先生方も健康が一番。活気のある働きやすい職場が教育活動の充実に繋がる。きめ細やかな教育のため教員の増員を実現してほしい。

※自己評価結果（達成状況）【A：よくできている　B：できている　C：あまりできていない　D：できていない　E：わからない】